

令和3年度 第1期(令和3年9月6日~10月29日)

【オンライン開催】
内閣府（防災）

	9月							9月							10月							10月																																																				
	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30																			
	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日																		
1	講義（自己学習） ①防災基礎														演習																																																											
2	講義（自己学習） ④応急活動・資源管理														演習																																																											
3	講義（自己学習） ③警報避難														演習		講義（自己学習） ②災害への備え														演習																																											
4															講義（自己学習） ⑤被災者支援														演習		講義（自己学習） ⑧対策立案														演習																													
5															講義（自己学習） ⑥復旧・復興														演習		講義（自己学習） ⑦指揮統制														演習																													
6																													講義（自己学習） ⑨人材育成														演習		講義（自己学習） ⑩総合監理														演習															

コース名	内容	主な対象者
① 防災基礎	ハザードのメカニズムと実態/地域の脆弱性と被害の実態/防災行政概要/防災計画/災害対応/災害対応力を強化する女性の視点/災害対応過程と態度を学ぶ	防災部門のみならず、災害対応に関ることになる職員など、災害対応の基礎を学びたい方を対象とします。
② 災害への備え	「災害への備え」としての地域の防災計画/行政のBCP、BCM/企業防災/防災教育・災害教訓の伝承/住民啓発/地域の自主的な防災活動/災害ボランティア	防災計画等の立案や住民啓発、防災教育、企業防災、災害ボランティアを担当する職員など、平常時の防災対策を実施するための知識や手法を学びたい方を対象とします。
③ 警報避難	警報等の種類と内容/避難情報の発令判断・伝達等/土砂災害の事例/決心ポイント/タイムライン計画/個別避難行動の支援と計画/避難場所・避難所の認定と適否判断	住民の避難誘導を担当する職員など情報の収集・分析、避難情報等の発令、避難誘導対策を学びたい方を対象とします。
④ 応急活動・資源管理	初動対応における国との連携/地方公共団体間の相互応援と受援体制/災害廃棄物処理/救援物資の調達/救援物資の輸配送/活動拠点・環境の確保/救援物資ロジスティクス演習	応急活動や応援・受援を担当する職員など、物資・活動拠点や外部からの応援といった災害時の資源（人・物・環境）の管理と調整について学びたい方を対象とします。
⑤ 被災者支援	災害救助法と被災者生活再建支援法/避難所運営の実際/避難所のライフサイクル/医療による被災者支援/多様な主体による被災者支援/被災者支援の個別課題/生活再建支援業務/(仮)個別避難計画の作成	医療・福祉・保健部門で避難所運営や被災者対応を担当する職員など、被災者支援を実施するために必要となる知識や手法を学びたい方を対象とします。
⑥ 復旧・復興	公共基盤の復旧/仮設住宅/コミュニティ再生/市街地の復興まちづくり/住まいの再建/地域産業の復興と雇用確保/復旧・復興演習	インフラ整備や都市計画部門で復興を担当する職員や、生活・社会・産業など総合的な復興計画策定等を担当する政策企画部門の職員など、被災自治体を取り組む復旧・復興政策を学びたい方を対象とします。
⑦ 指揮統制	指揮統制の世界標準/指揮統制の現状/日本社会に適した指揮統制のあり方/リーダーシップのあり方/参謀にとつての災害対策本部運営/災害広報	災害対応における組織の運営や参謀としての役割につく防災担当の幹部の方などを対象とします。
⑧ 対策立案	災害対策本部が行う対策立案プロセス/指揮統制の世界標準/地図による状況認識の統一とISUTの試み/災害対策本部運営演習/応急期の政府支援/効果的な災害対応計画・マニュアルの立案	災害対策本部で発災時に被災状況等を情報収集・分析し、適切な対策を迅速に立案する防災担当の方などを対象とします。
⑨ 人材育成	訓練・研修の実際/訓練・研修企画手法/状況付与型図上演習/地域防災リーダーの育成/討議型図上演習/人材育成プログラム作成演習	防災担当の幹部職員など、職員や組織の災害対応能力向上を図るための人材育成プログラムの策定、訓練・研修の効果的な企画・運営の知識や手法を学びたい方を対象とします。
⑩ 総合監理	総合防災政策/総合的な被害抑止施策の実施/リスク評価に基づく災害対応の検証/応急対策の実態/大規模災害の検証と対応/災害対策本部体制	防災に関する政策立案や、平常時から災害対応に必要な組織の構築を担う防災担当幹部職員など、総合的な防災政策を実施するための知識や手法を学びたい方を対象とします。

令和3年8月17日版

研修カリキュラム

【令和3年度 第1期】

オンデマンド
(講義動画を聴講/個人で作業)

リアルタイム
講義・ワーク

演習

※ 複数のコースへの応募が可能です。
※ 研修カリキュラムは変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。
※ 講義・ワークは各コースともに合計時間は約8時間です。演習は現在調整中です(1～3単元を予定)

①「防災基礎」	
コースコーディネーター ◆牛山素行(静岡大学)	
1 防災基礎総論	防災・危機管理の基本的な考え方を学びます。
2 ハザードのメカニズムと実態 2-1風水害 2-2火山災害 2-3地震・津波災害	「風水害」「火山災害」「地震・津波災害」の3つの災害について、それぞれのハザードのメカニズムと災害による被害、防災対策について3つの講義に分けて学びます。
3 地域の脆弱性と被害の実態	人的被害の実態や地域を知ることの重要性を理解し、防災情報に基づく避難のあり方について学びます。
4 防災行政概要／災害法体系／防災計画 4-1防災行政概要 4-2災害法体系 4-3防災計画	講義「防災行政概要」では、防災活動全体の流れと個々の活動の基礎的な知識を学びます。「災害法体系」では災害対策基本法・災害救助法などの災害関連法の体系等を、「防災計画」では国や地方公共団体等の防災計画について学びます。
5 災害対応力を強化する女性の視点～男女共同参画の視点からの防災・復興～	「女性の視点からの防災・復興ガイドライン」に基づき、男女共同参画の視点からの防災・復興の取組について学びます。
6 災害対応過程と態度を学ぶ・質疑応答	災害発生前後の地方公共団体の対応について具体的な事例に沿って学びます。

②「災害への備え」	
コースコーディネーター ◆丸谷浩明(東北大学)	
1「災害への備え」総論	自助・共助・公助による災害への備えの基本的な考え方や対策を学びます。
2「災害への備え」としての地域の防災計画	地域防災計画、地区防災計画、個別避難計画等を、このように災害の備えに向けて活用することを学びます。
3 防災教育・災害教訓の伝承	地域に根差した防災活動を進めるための防災教育および災害教訓の伝承について学びます。
4 企業防災	企業が災害時に果たすべき役割を認識し、企業と行政が連携した防災活動について学びます。
5 行政のBCP、BCM	行政におけるBCP、BCMの意味と策定のポイントについて学びます。
6 住民啓発	住民向けの防災の啓発の基本的な事項および具体例について学びます。
7 地域の自主的な防災活動	住民の自主防災組織の意義・役割と行政との連携について学びます。
8 災害ボランティア	災害ボランティアの意義・役割と行政との連携について学びます。
9「災害への備え」ワーク／全体討論	自助・共助・公助による災害への備えの推進策について、みんなの意見を交換し、自分たちの考えを、受講者が自らの組織でどのように反映させるのかを考えます。

③「警報避難」	
コースコーディネーター ◆井ノ口宗成(富山大学)	
1 警報避難総論	警報避難対策の基本的な考え方と事前対策を学びます。
2 警報等の種類と内容	警報等の種類と内容、伝達を学びます。
3 避難情報の発令判断・伝達等	避難情報の判断と伝達方法について学びます。
4 土砂災害における警報と避難	土砂災害における警報と避難の実務について学びます。
5 土砂災害の事例に学ぶ	土砂災害の事例から土砂災害における警報と避難について、その実態を演習形式で学びます。
6 風水害における警報と避難	風水害における警報と避難の実務について学びます。また、理解イン・避難計画について、外国人への配慮等、避難誘導の際に留意すべき点を学びます。
7 風水害からの警報避難における決心	風水害における警報と避難の決心ポイントを演習形式で学びます。
8 個別避難行動の支援と計画	円滑かつ迅速な避難を実現するための個別避難計画の役割と避難行動支援の考え方を学びます。
9 避難場所・避難所の認定と適否判断／全体討論	住民等の避難行動の目的となる避難場所・避難所の種類とその設置要件及び災害ごとに避難場所・避難所の適否判断をするうえで、行動を演習形式で学びます。また、防災力向上のため、警報避難について、みんなの考えを、受講者が担当する業務にどのように反映させるのかを考えます。

④「応急活動・資源管理」	
コースコーディネーター ◆松永正大元(全国消防士ネットワーク協会)	
1 応急活動・資源管理総論	応急活動の流れと資源管理に関する基本的な考え方を学びます。
2 初動対応における国との連携	国における初動対応の内容とその連携のあり方について学びます。
3 地方公共団体間の相互応援と受援体制	災害時の行政機関の間で行われる応援受援の仕組みと受援体制について学びます。
4 災害廃棄物処理	被災地における資源確保の例として、災害廃棄物の撤去・処理の進め方と留意点を事例に基づき学びます。
5 救援物資の調達・救援物資の輸配送	救援物資の調達に関する実務と課題について学びます。また、救援物資の輸配送に関する実務と課題を学びます。
6 活動拠点・環境の確保	応急活動を行うために必要となる活動拠点や通信サービス等の確保について学びます。
7 救援物資ロジスティクス演習	救援物資の調達から輸送・保管・配布における留意点などを演習形式で学びます。
8 資源管理演習	災害対策本部における資源(人的、物的、空間、サービス)の確保、管理における留意点などを演習形式で学びます。
9 質疑応答・意見交換	防災力アップのため、災害時の物資物流と広域的な応援体制について、みんなの考えを、受講者が担当する業務にどのように反映させるのかを考えます。

⑤「被災者支援」	
コースコーディネーター ◆田村圭子(新潟大学)	
1 被災者支援総論	被災者支援の実態と被災者支援の全体像を学びます。
2 災害救助法と被災者生活再建支援法	被災者支援における災害救助法と生活再建支援法の位置づけや各制度・手続き、適用事例を学びます。
3 避難所のライフサイクル	避難所のライフサイクルを学びます。
4 避難所運営の実践	事例を基に避難所運営の実践を学びます。
5 要配慮者をはじめとする避難者の避難生活支援	災害時要配慮者を始めとする避難生活への支援対策を学びます。
6 医療による被災者支援	医療チームの活動と医療支援のサイクルと医療による被災者支援を学びます。
7 多様な主体による被災者支援/被災者支援の個別課題	専門職能における被災者支援と被災者支援の個別課題を学びます。
8 生活再建支援業務	家屋の被害認定から罹災証明の発行と罹災証明を基にした一連の生活再建支援業務を学びます。
9 (仮)個別避難計画の作成	令和3年3月の災害対策基本法において、市町村に作成が努力義務化された個別避難計画作成のステップとその機能を学びます。
10 災害時のトイレ問題／全体討論	避難所のライフサイクルを演習形式で学びます。みんなの考えをグループで話し合い、理解を深めます。

⑥「復旧・復興」	
コースコーディネーター ◆中林一樹(明治大学)	
1 復旧・復興総論	災害からの復旧・復興の概念、行政・被災者等を取り組むから復興プロセスとその全体像について学びます。
2 公共基盤の復旧(基盤復興Ⅰ)	被災した公共基盤の復旧・再建の理念とその支援制度、対応業務の進め方について、事例を踏まえて学びます。
3 仮設住宅(生活復興Ⅰ)	災害救助法による応急仮設住宅の提供として、建設型仮設住宅(宅地なし板設)・賃貸型仮設住宅(宅地なし板設)の役割分担、建設用地の選定や確保、入居と管理運営の搬入等の取組を、事例に基づき学びます。
4 コミュニティ再生(社会復興)	地域社会の再生(つながり・コミュニティの継続と活性化)にについて事例を通して学びます。
5 市街地の復興まちづくり(基盤復興Ⅱ)	土地収容整理事業など市街地の基盤を整備する復興まちづくりの意義と課題を事例に基づいて学びます。
6 住まいの再建(生活復興Ⅱ)	被災者個人の生活再生とその基礎となる被災者の住まいの再建について体系的に学びます。
7 地域産業の復興と雇用確保(産業復興)	地域社会の活力と被災者の雇用確保のための産業復興について事例に基づいて学びます。
8 復旧・復興演習(復旧・復興前準備)／全体討論	自らの自治体の地域防災計画の復旧・復興編を校証し、復興の復興の体系や体制を演習形式で学びます。また、事前復興の取り組みの事例を通して、自治体で事前復興に取り組む可能性と課題を考えます。

⑦「指揮統制」	
コースコーディネーター ◆林春男(防災科学技術研究所)	
1 指揮統制総論	災害対策本部組織を統制しているための理論と基本構造を学びます。
2 指揮統制の世界標準	世界標準における危機対応組織の仕組みを学び、リーダーに求められる4つの役割を学びます。
3 指揮統制の現状	大規模災害を経験したトップが指揮統制の本質を語ります。
4 日本社会に適した指揮統制のあり方	危機対応の世界標準に則して災害対策本部の統制のあり方を学びます。
5 リーダーシップのあり方	リーダーシップの考え方と指揮統制を行うための要求事項を学びます。
6 参謀にとっての災害対策本部運営	危機対応組織の参謀がどのようにトップを補佐しながら災害対策本部を運営していくのかについて学びます。
7 災害広報(行政の視点、メディアの視点、演習方法)	地方公共団体の災害広報の事例を踏まえ、地方公共団体の長や幹部は、メディアを通して被災者にどう向き合い、どう語るのかを学びます。
8 災害広報(記者会見演習)	地方公共団体の災害広報の事例を踏まえ、地方公共団体の長や幹部は、メディアを通して被災者にどう向き合い、どう語るのかを学びます。
9 全体討論	防災力アップのため、指揮統制についてみんなの考えを、受講者が自らの組織でどのように反映させるのかを考えます。

⑧「対策立案」	
コースコーディネーター ◆林春男(防災科学技術研究所)	
1 対策立案総論	災害対応における対策立案の考え方と情報統括、活動サイクル、体制を学びます。
2 指揮統制の世界標準	世界標準における危機対応組織の仕組みを学び、リーダーに求められる4つの役割を学びます。
3 災害対策本部が行う対策立案プロセス	「当面の実行計画(インシデント・アクション・プラン)」の果たすべき役割と基本的な構造、立案のプロセスについて学びます。
4 地図による状況認識の統一とISUTの試み	GISによる統合された情報提供の必要性とISUTの有効性について学びます。
5 応急期の政府支援	発災直後に各省庁から提供される具体的な支援の内容について学びます。政府の体系的な初動対応は資源管理コース「初動対応における国との連携」で学びます。
6 効果的な災害対応計画・マニュアルの作成方法	災害対応計画の果たすべき役割と基本的な構造、災害対応マニュアルの作成について、災害対応の事例を基に学びます。
7 災害対策本部運営演習(オンデマンド)	災害発生後の限られた情報の中で状況を推測し、対応方針を検討し、計画を立案し、活動を調整しながら、災害対策本部会議において対策を決定する手法を学びます。
8 災害対策本部運営演習(リアルタイム)／全体討論	災害発生後の限られた情報の中で状況を推測し、対応方針を検討し、計画を立案し、活動を調整しながら、災害対策本部会議において対策を決定する手法を学びます。また、災害対応マニュアルの作成についてみんなの考えを、受講者が自らの組織でどのように反映させるのかを考えます。

⑨「人材育成」	
コースコーディネーター ◆黒田洋司(消防防災科学センター)	
1 人材育成総論	人材育成の必要性や戦略、法律、計画を学びます。
2 訓練・研修の実践	国や地方公共団体等が実際に実施している訓練や研修の実例を学びます。
3 訓練・研修企画手法	防災訓練・研修を企画する際のポイントを学びます。
4 訓練企画運営実践Ⅰ(状況付与型図上演習)	訓練手法のうち状況付与型図上演習のうちの1つである災害対策本部運営訓練を経験するとともに、さまざまなシナリオを用いた状況付与型図上演習の考え方を学びます。
5 地域防災リーダーの育成	地域における防災リーダーの育成の意義と研修の企画、実施手法を学びます。
6 人材育成に関するテーマ別情報交換会	テーマ別に受講生と講師が情報交換しながら交流を図ります。
7 訓練企画運営実践Ⅱ(討議型図上演習)	訓練手法のうち討議型図上演習の1つである災害対応者のインテリジェントな遠征演習を経験するとともに、さまざまな素材を用いたケースメソッドの考え方を学びます。
8 人材育成プログラム作成演習	様々な訓練・研修を組み合わせた人材育成プログラムの作成手法と留意点について学びます。

⑩「総合監理」	
コースコーディネーター ◆岩田孝仁(静岡大学)	
1 総合防災政策	総合的に防災政策を推進していくための基本的な考え方を予防対策から応急対策への流れに沿って学びます。
2 総合的な被害抑制施策の実施	水害や土砂災害、地震などの被害を抑止するため総合的な対策について学びます。
3 リスク評価に基づく災害対応の検証	防災アクションプランの意義と策定方法、事業評価の手法について学びます。
4 応急対策の実態	災害対策本部における重要業務と応急活動の実態について学びます。
5 大規模災害の検証と対応	大規模災害がどのように検証されているのかを学び、今後の災害への反映を考えます。
6 災害対策本部体制／全体討論	災害対策本部体制を構築するために必要な体制、空間レイアウトなどを事前に準備すべきことを学び、災害対策本部運営の流れと心構えを学びます。また、総合防災政策立案についてみんなの考えを、受講者がそれぞれの組織でどのように反映させるのかを考えます。